

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価 (令和2(2020)年度)

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

## 1. 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

### 本市施策における法人の役割

・周辺の各大型商業施設や商店街と地下空間で繋がるメリットを活かし、魅力的な商業施設として運営することで、川崎駅周辺における集客や回遊性の向上、賑わいの創出を図ります。また、川崎駅周辺の開発動向等に対応しながら、当該エリアの中心的な商業施設として商業活性化を推進します。  
 ・川崎駅前広場の人車分離により歩行車の安全性を確保するため、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道を管理運営するとともに、川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車を解消するため、公共地下駐車場を適切に管理運営します。  
 ・川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会が策定した「川崎駅周辺の災害時における行動ルール」において、駅周辺で最も収容力の高い一時滞在施設として位置付けられていることから、帰宅困難者対策等で地域社会に貢献します。

法人の取組と関連する計画	市総合計画と連携する計画等	基本政策	施策
		活力と魅力あふれる力強い都市づくり	魅力と活力のある商業地域の形成
	分野別計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業振興プラン</li> <li>商業振興ビジョン</li> </ul>	

### 4カ年計画の目標

・安全・安心・快適な公共地下歩道、公共地下駐車場、店舗設備環境等を提供します。  
 計画的な施設・設備の整備・更新するとともに、環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理を実施します。  
 ・顧客に支持される、魅力のある店舗を提供します。  
 ライフシェアモールの理念のもとに、川崎アゼリアの将来にわたる持続的発展に向けた施設運営を行います。日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指します。リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図ります。また、効果的なプロモーションの展開により、新生アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基本に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。  
 ・アゼリアの公共的施設としての役割を的確に担うとともに地域社会への貢献を一層推進します。

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度 (%) (※1)	本市による評価 ・達成状況 (※2) ・費用対効果 (※3)	今後の取組の 方向性 (※4)
①	施設環境整備事業	計画的な施設・設備の整備・更新	%	30.8	82.7	54.1	b	C	II
		環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	該当年度 t-co2/基 準年度t- co2	1,236	1,022	1,051	b		
		通行者数	千人	291 (休日251)	291	240 (休日234)	c		
		駐車台数確保	台	362	362	362	a		
		事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)	千円	185,230	215,971	397,466	4)		
②	店舗活性化推進事業	店舗売上高	百万円	15,910	16,192	11,317	c	D	II
		店舗レジ客数	百万人	11.3	11.5	8.7	c		
③	地域社会への連携・貢献事業	帰宅困難者対策訓練	回	1	1	1	a	C	II
		チャリティーコンサート開催	回	2	2	0	d		

### 3. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	財務の改善	有利子負債の削減	百万円	9,951	6,659	6,959	b	C	II

### 4. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	単位	現状値 (平成29 (2017)年度)	目標値 (令和2 (2020)年度)	実績値 (令和2 (2020)年度)	達成度	本市による 評価 ・達成状況	今後の取組の 方向性
①	法令順守の取組	コンプライアンスに反する事案の発生件数	件	0	0	0	a	A	I

(※1)【a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1). 実績値が目標値の100%未満、2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4). 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】

## 本市による総括

### 各取組の評価結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など

【令和元(2019)年度取組評価における総括コメントに対する法人の受止めと対応】

令和2年度は、令和元年度の総括を踏まえ、新型コロナウイルス感染症への対応として、店舗と一体となった感染症対策を実施していくとともに、売上高回復策を講じてきました。感染症対策については、国や県等の方針を踏まえ、営業自粛や時短営業等の要請に対応するとともに、店舗と共にガイドラインに基づいた感染防止対策を徹底することができました。しかし一方では、感染症の影響が長期間に及び、歩合家賃の減少や店舗家賃の減免対応等により、売上高の回復を図ることができませんでした。

市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道及び公共地下駐車場のサービス提供、また、帰宅困難者対策等での地域貢献活動については、感染症拡大の影響もある中、継続的に取組を推進することができました。

【令和2(2020)年度取組評価における総括コメント】

リニューアルコンセプトに添ったリーシングや最適なテナントミックス等により、施設全体の魅力創出や活性化に努めましたが、1年を通し、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛や時短営業要請、外出自粛要請等の影響を大きく受け、営業収益を減少させる結果となりました。一方では、水光熱費の削減や不急工事の繰延等、営業費用の縮減に取組むとともに、快適な公共地下街としての維持管理、MIMOZAFESTA2021の参加やかわさきハロウィンへの協力等、近隣商業施設等との連携による駅周辺の活性化、帰宅困難者対策訓練への参加や被災地物産展の開催による社会貢献活動など、継続的に取組むことができました。

今後については、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、継続して、魅力ある店舗の誘致等により施設全体の活性化を図り店舗家賃収入等の増加に取組むとともに、工事費や委託費等の経費の縮減に取組むことで、収支の改善、経営の健全化を図り、当該エリアの中心的な商業施設としての役割を果たせるよう期待します。また、引き続き、市民が安全で快適に通行できる公共地下歩道及び公共地下駐車場のサービス提供を行うとともに、帰宅困難者対策等で地域社会へ貢献することを期待します。

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

## 2. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和2(2020)年度)

事業名	施設環境整備事業
-----	----------

### 計 画 (Plan)

指標	①計画的な施設・設備の整備・更新、②環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施、③通行者数、④駐車台数確保
現状	① お客様及びテナントに安全・安心・快適な施設空間を永続的に提供するため、計画的に施設・設備の整備及び更新を行っています。 ② ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギーに向けた取り組みを行っています。 ③ 平成30年度 275千人 ④ 平成30年度 362台(四輪347台 二輪15台)
行動計画	① 施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、高めていくために、劣化診断等に基づいた計画的な整備及び更新を推進するとともに、施設・設備の快適性等に配慮した的確な維持管理を行います。 ② 施設整備及び維持管理に当たっては、効率性、経済性を発揮するとともに、ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限の配慮をはらうこととします。 ③ 施設・設備の安全・安心・快適性を維持し、川崎市民等の顧客への良好なサービス水準を維持します。 ④ 公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車解消に努めます。
具体的な取組内容	①施設・設備の安全・安心・快適性を維持するため、計画的な整備を実施します。本年度においては給水管更新工事等を実施します。 ②維持管理においては引き続きユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等にも最大限配慮し、アゼリアを訪れる人々に快適性を提供します。なお、省エネルギーを検証するため、月1回関係者にて前月のエネルギー使用状況を確認し、省エネルギー化に努めます。 ③定期的な各種イベントを引き続き実施するとともに、サンライト広場を積極的に活用することで、販売促進施策や川崎駅周辺イベントとの連動を図り、館全体の季節感の創出とサービス水準の維持に努めます。 ④駐車場についても効率的な運営に努め、引き続き駐車台数の確保に努めます。

### 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 緊急性の高い駐車場インバータ盤機器更新工事(その3)及び消防法に係る防災設備工事の屋内消火栓及び連結送水管ホース更新を行いました。給水管更新工事(その5)等、衛生設備に係る工事及び防災設備の一部更新工事は、次年度以降へ繰り延べを行いました。</p> <p>【指標2関連】 省エネ対策の効果として、夏・冬の需要逼迫時にデマンドレスポンス対応を行い、東京電力からの要請に対応いたしました。また、省エネ効果により、前年比613tのCO2を削減しました。</p> <p>【指標3関連】 年間を通じて、計画に基づき快適で心地よい施設環境、施設空間作りを推進し通行者数の維持に努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う様々な自粛要請や在宅ワークの広がり等により影響を大きく受け、平日の通行者数は、アゼリア全館としては前年に対し57千人の減少となり、休日の通行者数は、アゼリア全館として前年に対し20千人減少しました。 令和2年度実績 平日240千人 (前年度比57千人減少) 同 休日234千人 (前年度比20千人減少) *調査日:令和2年8月28日(金)、29日(土)</p> <p>【指標4関連】 アゼリア地下2階に併設された地下駐車場であり、川崎駅東口の公共駐車場としての役割も担っています。駐車台数は、四輪347台、二輪15台、合計362台もの規模であり、また、駐車場運営については、安定した収入の確保と収支の改善を図るため、令和元年7月からタイムズ24株式会社に運営業務を任せており、令和2年度は、新型コロナウイルスにより、駐車場運営に影響はありましたが、適正な管理・運営により、駐車台数の確保に努めました。</p>
----------------	--

# 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	計画的な施設・設備の整備・更新	目標値	30.8	48.1	65.4	82.7	100	%
	説明	計画的な整備及び更新に努める		実績値	48.5	53.4	54.1	
2	環境・ユニバーサル化に配慮した施設整備及び維持管理の実施	目標値	1.236	1.1645	1.093	1.0215	0.95	該当年度 t-co2/基 準年度t- co2
	説明	ユニバーサル化、環境配慮、省エネルギー等に配慮した施設維持に努める		実績値	1.210	1.141	1.051	
3	通行者数	目標値	291 (休日251)	291	291	291	291	千人
	説明	快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進し、通行者数の維持を図る(なお、目標値は平日の値であり、その達成度をもって評価するものとするが、実績値に休日の値を別掲の補足指標として加える) ※個別設定値:276(現状値の95%)		実績値	275 (休日289)	297 (休日254)	240 (休日234)	
4	駐車台数確保	目標値	362	362	362	362	362	台
	説明	公共地下駐車場の管理・運営による川崎駅周辺の駐車場不足や違法駐車解消に努める ※個別設定値:344(現状値の95%)		実績値	362	362	362	

指標1 に対する達成度	b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
指標2 に対する達成度	b	
指標3 に対する達成度	c	
指標4 に対する達成度	a	

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1 コロナ禍において営業収益が低下したため、法定更新工事を優先して実施し、その他の工事については見送ったことが要因で、令和2年度は目標値を達成できませんでした。なお、緊急性の高い修繕については計画の有無に関わらず実施しております。

指標2 環境に配慮した施設維持については、令和2年度は前年度より改善を図る事ができましたので、引き続きユニバーサル化、省エネルギー等にも最大限配慮し、アゼリアを訪れる人々に快適性を提供できるよう努めます。

指標3 快適で心地よい施設環境、施設空間づくりを推進しましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う様々な自粛要請や在宅ワークの広がり等により、地下街の通行者数も大きく影響を受け、目標値を下回りました。

指標4 新型コロナウイルスにより、駐車場運営に影響はありましたが、適正な管理・運営により、駐車台数の確保に努めました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	C

行政サービスコスト		目標・実績	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト (①～③事業合計)	目標値		215,971	203,457	215,971	203,457	千円
	説明 直接事業費－直接自己収入	実績値	185,230	161,301	159,386	397,466		

行政サービスコストに対する達成度	4)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
------------------	----	--

**法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)**

水光熱費の削減や不急工事の繰延等、事業費の縮減を図りましたが、それ以上に1年を通し、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛や時短営業要請、外出自粛要請等の影響を受け、自己収入を減少させることとなりました。

	<b>費用対効果</b> <small>(「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)</small>	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(3) 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響を大きく受けたことなどにより、指標1、指標2、指標3の目標値が達成できなかったこと、また、前年よりも事業費の縮減を図るとともに、施設の安全・安心や快適性を維持しながら魅力的な商業施設づくりに努めたが、自己収入の大幅な減少により、市からの負担金等は令和元年度からほぼ変わらないものの、行政サービスコストが目標値の範囲を超えたため。

**改善 (Action)**

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組②(令和2(2020)年度)	
事業名	店舗活性化推進事業
計 画 (Plan)	
指標	①店舗売上高、②店舗レジ客数
現状	日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、売上増を目指すとともに、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより施設全体の活性化、店舗売上の向上を図っています。また、効果的なプロモーションの展開により、アゼリアのブランディングと店舗売上の促進を図るとともに、リニューアルに当たって作成したデザインの基準に則り、各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進しています。
行動計画	現状の継続実施を基本とし、日々の店舗管理、店舗指導を的確に行うことでより一層の売上増を目指します。また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、施設全体の活性化を推進するとともに、店舗売上の向上を図ります。さらに、効果的なプロモーションの展開により各テナントと共に、快適で心地良い施設環境、施設空間づくりを推進します。
具体的な取組内容	①コロナ禍での取組として、今まで以上に日常の売上動向を注視し、店舗巡回指導、本部、店舗スタッフとの連携をより一層強化して店舗管理、店舗指導を行います。また、リーシングについては、店舗出店者の出店計画への影響も多大であることを充分考慮しながら新店誘致と入替の推進を図ってまいります。 ②プロモーション展開ではカワサキハロウィン等の近隣イベントへの参加を予定しますが、コロナウイルスへの感染対策として密空間を作らず消毒等を充分に行いながら、安心安全な施設空間の訴求に努め、実需に応じた購買意欲の取込みに繋げられるよう進めてまいります。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 緊急事態宣言下、多くの店舗で営業時間短縮や休業を余儀なくされ売上も伸び悩みました。またコロナの影響により退店した店舗の後継選出にあたっては、リニューアルコンセプトに沿ったリーシングを行い、メディアに取り上げられた話題店、行列のできる飲食店等の新規開店に成功し、各ゾーンに最適なテナントミックスの実現に取り組みしました。(令和2年度 開店11店舗 閉店10店舗)</p> <p>【指標2関連】 プロモーション展開では、新型コロナにおける3密を避ける為、集客性の高いイベント等は中止を余儀なくされました。令和2年5月の緊急事態宣言明けにはアゼリアカードポイント付与やポイント対象期間延長等の施策を展開し集客回復に努めました。新型コロナ感染症対策としては、管理施設・店舗へのアルコール消毒液、飛沫防止シートの設置、また店舗従業員が感染した際の会社・店舗の行動基準(マニュアル)を策定し各店舗と情報共有するなど店舗管理、店舗指導を的確に行い、お客様の安全安心を第一にテナントと共にお客様の来店増・売上増に向けて取組みました。</p> <p>【その他】 近隣商業施設や商店街のイベント(ミモザフェス等)にはコロナによる集客制限も考慮しつつ参加するとともに、アゼリアの回遊性を高め、川崎駅周辺の活性化に貢献しました。</p>

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	店舗売上高	目標値	15,910	16,021	16,192	16,192	16,192	百万円
	説明 店舗活性化推進を図るための一つの指標となる ※個別設定値: 15,115(現状値の95%)	実績値		16,312	15,631	11,317		
2	店舗レジ客数	目標値	11.3	11.4	11.5	11.5	11.5	百万人
	説明 店舗活性化推進を図るための一つの指標となる ※個別設定値: 10.7(現状値の95%)	実績値		11.4	11.5	8.7		
指標1 に対する達成度		C	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
指標2 に対する達成度		C	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

指標1 日々の店舗管理、店舗指導を的確に行い、強固な販売体制を築き、また、リニューアルコンセプトに添ったリーシングを遂行し、各ゾーンに最適なテナントミックスを実現することにより、施設全体の活性化、店舗売上の向上に取組みましたが、期間を通して、新型コロナウイルス感染症による営業自粛要請への対応、外出自粛の影響を大きく受け、「店舗売上高」は目標値を達成できませんでした。

指標2 令和2年度については来街者の安心安全を第一に捉え、集客性の見込める販促イベント・催事等を中止・延期としました。緊急事態宣言後の営業再開においては感染予防対策を進め慎重な営業を心掛け、アゼリアから感染を広げることはありませんでした。レジ客数と致しましては、食物販店舗がテイクアウト需要等により一部店舗で客数も伸びましたが、全体的には新型コロナ関連による店舗の退店および国、県による要請により、感染症の対応として営業時間短縮、休業を行ったため、「店舗レジ客数」は目標値を達成できませんでした。

本市  
による評価

達成状況

区分

区分選択の理由

- A. 目標を達成した  
B. ほぼ目標を達成した  
C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった  
D. 現状を下回るものが多くあった  
E. 現状を大幅に下回った

D

リニューアルコンセプトに添ったリーシングや最適なテナントミックス等により、施設全体の魅力創出や活性化に努めましたが、1年を通し、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛や時短営業要請、外出自粛要請等の影響を大きく受け、売上高、客数ともに目標未達となったため。

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分		方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	II

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

本市施策推進に向けた事業取組③(令和2(2020)年度)	
事業名	地域社会への連携・貢献事業
計 画 (Plan)	
指標	①帰宅困難者対策訓練、②チャリティーコンサート
現状	① 帰宅困難者対策訓練 平成30年度 実施 1回 ② チャリティーコンサート 平成30年度 実施 2回
行動計画	① 市と連携し、大震災発生時の川崎駅周辺における帰宅困難者による混乱の抑制に向けた避難誘導及び一時滞在施設開設訓練を実施し、行動ルールの検証を行います。 ② 川崎市と関連のある演奏家によるチャリティーコンサートを開催することで、地域社会への連携・貢献を強めるとともに、熊本地震及び東日本大震災復興支援を行います。
具体的な取組内容	①帰宅困難者対策協議会に参加し、川崎市と連携の上、帰宅困難者訓練を実施します。 ② 川崎市と関連のある演奏家によるチャリティーコンサートを開催することで、地域社会への連携・貢献を強めるとともに、熊本地震及び東日本大震災復興支援を予定しており、コロナウイルスによるイベント自粛との調整を図り開催を目指してまいります。

実施結果 (Do)	
本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 令和2年度につきましては、7月3日に予定されていた「川崎駅周辺帰宅困難者等対策協議会」を書面会議により開催し、新型コロナウイルス対策のため、11月に予定していた帰宅困難者訓練を令和3年2月16日に変更しました。 アゼリアに関しましては、新型コロナウイルス感染症を踏まえて作成された、「感染症対策ポケットガイド」などを踏まえ、フェイスシールドなどの感染防護衣の着装的のほか、非接触型体温計や消毒液等の活用などについて手順等の確認を行いながら、一時滞在施設開設訓練を実施しました。</p> <p>【指標2関連】 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、中止と致しました。</p> <p>【その他】 緊急事態宣言終了後に鹿児島県指宿市の夏野菜を展開した指宿物産展、アゼリア既存店舗による冬のクリスマスフェアやバレンタインフェアなど季節に応じたイベントを実施しました。地方物産展については例年開催している鹿児島県、北海道、福島市、岩手県に加え新規に鳥取県、萩市、長野県が加わり、自由に旅行が出来ない中で各地産品を提供するとともに、コロナ禍で販売機会が減少した地方の地場産業支援を行いました。</p>



## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	婦宅困難者対策訓練	目標値	1	1	1	1	1	回
	説明 最大震度6強の地震を想定し、川崎駅周辺の婦宅困難者を川崎アゼリアの地下1階を一時滞在施設として提供します。	実績値		1	1	1	1	
2	チャリティーコンサート開催	目標値	2	2	2	2	2	回
	説明 川崎市のイメージアップに貢献	実績値		2	2	1	0	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満  ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
指標2 に対する達成度		d						

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

川崎駅周辺婦宅困難者等対策協議会の書面会議に参画し、新型コロナウイルス感染症を踏まえて作成された、「感染症対策ポケットガイド」などを踏まえ、婦宅困難者対策訓練へ参加するなど、市および周辺事業者との共通認識を図りつつ、行動ルールの確認を行うとともに、災害に対する防災・減災意識高揚に寄与しました。なお、チャリティーコンサートについては年2回の開催を予定しておりましたが、国及び川崎市からの要請を受け新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止と致しました。

	区分	区分選択の理由
<div style="font-size: 24px; font-weight: bold;">C</div>	A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	・今年度は、感染症対策ポケットガイド等も踏まえながら、「婦宅困難者対策訓練」へ参加し、災害時の行動ルールや新型コロナウイルス等の感染症対応の確認を行うなど、防災・減災意識の高揚に寄与したため。 ・「チャリティーコンサート開催」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としましたが、被災から10年目を迎える東日本大震災の復興支援等を目的に、コロナの状況を踏まえながら物産展を開催することで、地域社会への連携・貢献に寄与したため。

本市による評価

達成状況

## 改善 (Action)

実施結果 (Do) や評価 (Check) を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II	婦宅困難者対策訓練については計画に沿って実施します。 チャリティーコンサートについては、令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策のため目標達成とはならなかったものの、令和3年度は他のイベントの実施状況や国等の方針を踏まえながら、感染症の感染防止対策を徹底し、目標とするコンサートの実施に向け努めていきます。また、物産展は各自治体とも調整し開催継続してまいります。

法人名(団体名)	川崎アゼリア株式会社	所管課	経済労働局産業振興部商業振興課
----------	------------	-----	-----------------

### 3. 経営健全化に向けた取組①(令和2(2020)年度)

項目名	財務の改善
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	有利子負債の削減
現状	平成30年度から、平成27年度に借入れた6,500百万円の元本返済が開始。金融機関への約定に基づく借入金返済により有利子負債の削減に取り組めます。
行動計画	約定どおり返済を行い有利子負債の削減に取り組めます。
具体的な取組内容	新型コロナウイルス感染症の収束時期、今後の景気動向、個人消費への影響が見極められないなかで厳しい状況となりますが、業績の維持向上及び事業運営に支障が生じないように手元資金の確保に努めつつ、金融機関との約定による借入金返済を計画どおり行い、目標どおりの借入金残高削減に努めます。

### 実施結果 (Do)

経営健全化に向けた活動実績	魅力ある店舗の誘致等により施設全体の活性化を図り店舗家賃収入等の増加に取り組むとともに、水光熱費や工事費等の経費の縮減に取り組むことで、収支の改善、経営の健全化に努めましたが、1年を通し、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛や時短営業要請、外出自粛要請の影響を受けたほか、テナント支援策として一部賃料減額措置等を行ったため、営業収益を減少させる結果となりました。感染拡大の影響に伴う収益環境の悪化や収束時期の見通しが立てられない状況等を踏まえ、今後の円滑な事業継続を図るため、金融機関から新たに3億円の追加借入を行いました。
---------------	---

### 評価 (Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	有利子負債の削減	目標値		8,796	7,680	6,659	5,780	百万円
	説明 約定返済による借入金残高削減	実績値	9,951	8,796	7,680	6,959		
指標1 に対する達成度		b	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>								
令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う収益環境の悪化や収束時期の見通しが立てられない状況等を踏まえ、今後の円滑な事業継続を図るため、金融機関から新たに3億円の追加借入を行ったため、目標未達となりましたが、当初計画としていた既存借入金の残高削減(△1,021百万円)は予定どおり達成しています。引き続き、売上増や経費削減に取り組む、収益を確保することにより、計画的な有利子負債の削減を達成していきます。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		C	新型コロナウイルス感染拡大の影響により新たな借入を行った結果、目標が未達となりましたが、令和2年度は、店舗活性化策の実施や経費の見直しによる収支改善の取組を推進するとともに、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を踏まえ、テナント支援策として一部賃料減額措置等の対応をするなかにおいても、約定に基づく既存の借入金返済は着実に進んでいるため。なお、これまで以上に売上の確保や経費の削減等に取り組む、収支の改善を図ることにより計画的な有利子負債の削減を行うことが必要である。

### 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	新型コロナウイルス感染拡大の影響が見通せない状況ではありますが、引き続き、魅力ある店舗の誘致等により施設全体の活性化を図り店舗家賃収入等の増加に取り組むとともに、工事費や委託費等の経費の縮減に取り組むことで、収支の改善を図ります。また、事業運営に支障が生じないよう手元資金の確保を図りながら、金融機関との約定による借入金返済を確実に進め、借入金残高の縮減を図ります。

### 4. 業務・組織に関する取組①(令和2(2020)年度)


項目名	法令順守の取組
<b>計画 (Plan)</b>	
指標	コンプライアンスに反する事案の発生件数
現状	内部統制システムの基本方針を改正、コンプライアンスマニュアルを整備
行動計画	役員・社員等に対しコンプライアンス遵守を促す取組の実施
具体的な取組内容	コロナ禍という社員を取巻く環境が変化する中、引き続き、コンプライアンスに関する意識の維持向上を図るため、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行います。

### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	会社としてコンプライアンスに関する意識の維持向上を図るための取組として、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行ったことから、コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。
---------------	--

### 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	H29年度 (現状値)	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	単位
1	コンプライアンスに反する事案の発生件数	目標値	0	0	0	0	0	件
	説明 会社として法令等順守の徹底を図ります。	実績値		0	0	0	0	
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
コンプライアンスに反する事案の発生はありませんでした。								

	<b>達成状況</b>	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行うなど、コンプライアンスに関する意識の維持向上を図った結果、成果指標である「コンプライアンスに反する事案の発生件数」は0件であり、目標を達成したため。

### 改善 (Action)

<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性</b>	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>I</b> コンプライアンスに関する意識の維持向上を図るため、役員・社員等を対象にしたチェックリストによる確認を行います。

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
損益計算書	営業収益	3,206,679	3,022,500	2,667,441	
	営業費用	3,578,983	3,354,097	3,229,412	
	営業損益	△372,304	△331,597	△561,970	
	経常損益	△370,221	△300,119	△524,462	
	当期損益	△377,826	△320,060	△519,512	
貸借対照表	総資産	18,598,331	16,812,144	15,604,076	
	流動資産	1,654,878	1,334,738	1,385,799	
	固定資産	16,943,453	15,477,405	14,218,277	
	総負債	12,302,872	10,836,744	10,148,188	
	流動負債	2,139,375	1,755,907	1,726,857	
	固定負債	10,163,496	9,080,838	8,421,331	
	純資産	6,295,460	5,975,400	5,455,888	
	資本金 剰余金等	5,000,000 1,295,460	5,000,000 975,400	5,000,000 455,888	

エラーチェック

OK

OK

OK

OK

本市の財政支出等(単位:千円)

	平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
補助金				
委託料	77,653	85,296	85,416	
指定管理料				
貸付金(年度末残高)				
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)				
出資金(年度末状況)	2,142,735	2,142,735	2,142,735	
(市出資率)	42.8%	42.8%	42.8%	

財務に関する指標

	平成30(2018)年度	令和1(2019)年度	令和2(2020)年度	令和3(2021)年度
流動比率(流動資産/流動負債)	77.4%	76.0%	80.2%	
純資産比率(純資産/総資産)	33.8%	35.5%	35.0%	
純資産利益率(当期損益/純資産)	-6.0%	-5.4%	-9.5%	
総資産回転率(営業収益/総資産)	17.2%	18.0%	17.1%	
収益に占める市の財政支出割合 (補助金+委託料+指定管理料)/営業収益	2.4%	2.8%	3.2%	

法人コメント

**現状認識**  
販売促進策の徹底や催事スペースの活用等による売上確保、水光熱費や消耗品費の縮減、広告宣伝費の見直し、不急工事の繰延等による経費削減などに努めましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、収益環境の悪化から損失増を余儀なくされました。資金繰りの面では、そのような収益環境の悪化や収束時期の見通しが立てられない状況等を踏まえ、今後の円滑な事業継続を図るため、金融機関から新たに3億円の追加借入を行い、当面の対応を図りました。

**今後の取組の方向性**  
新型コロナウイルス感染症の収束時期、今後の景気動向、個人消費への影響が見極められないなかで厳しい状況となりますが、引き続き、魅力ある店舗の誘致や催事スペースの活用等により施設全体の活性化を図り営業料収入等の増加に取組むとともに、工事費や委託費の見直し等による経費の縮減に取組むことで、収支の改善、経営の健全化に努めていきます。

本市コメント

**本市が今後法人に期待することなど**  
新型コロナウイルス感染症拡大に伴う営業自粛や時短営業要請等の影響を大きく受け、営業収益が減少しましたが、一部賃料の減額措置を行うなどコロナ禍で経営が悪化するテナントを支援したこと、また、水光熱費や消耗品費の縮減、広告宣伝費の見直し、不急工事の繰延等、営業費用の削減を図ったことは評価できます。今後は、コロナ禍の状況を踏まえ、手元資金の確保を図りながら、工事費や委託費等の経費の縮減に継続的に取り組むとともに、魅力ある店舗の誘致等により施設全体の活性化を図り店舗家賃収入等の増加に取組むなど、経営改革が進み、早期の収支改善が図られることを期待します。

(2)役員・職員の状況(令和3年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	4	0	2	8	1	1
職員	35	0	2	2	0	2

【備考】

●総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解・理由

・今後の方向性